

## 平成 25 年度公益財団法人日立市民文化事業団

### 事業報告

当文化事業団は多種多様化する市民の文化活動を支援し、またそのニーズに応え、心豊かな新しい文化のまちづくりを目指し、様々な文化事業を推進して参りました。

当事業団が管理致します日立市民会館は、東日本大震災被災後、休館が続いておりましたが、関係各位のご尽力により耐震補強工事が9月末で完了致しました。10月20日の再開に当たっては日立市との共催により、市民の各種音楽団体による演奏と、ゲストに安田祥子さんをお迎えした「日立市民会館再開のつどい」を盛大に開催することができ、市民の皆さんとともにその再開を祝うことができました。また、石井竜也コンサート、藤原正彦先生をお迎えしての講演会等、記念事業として相応しい事業を開催致しました。以降、市民の皆様が震災前同様、安心してご利用いただける文化拠点施設としての運営管理に努めて参りました。

地域で開催される各種文化事業における支援依頼に積極的に対応するとともに、定着しております出前寄席の開催や、アマチュア劇団の育成支援等、市民一人ひとりに及ぶ地域文化の振興に寄与して参りました。

日立市文化協会の運営にあたっては、各文化団体等の芸術発表活動について、円滑な運営のため事務局業務を遂行致しました。

また、日立市における文化活動を取り巻く環境の変化に対応し、地域文化の振興を更に推進するため、公益財団法人日立市科学文化情報財団との間で事業統合の協議を進め、その有意性、有効性を確認しました。更に事業統合の効果をもより実効性のあるものとするため、組織の統合についても協議し、合併に係る基本事項について合意に至り、同財団と合併基本合意書を締結しました。

以下、今年度の事業を報告します。

#### I 公益目的事業 I

地域文化の振興のための事業、助成、市民会館施設の貸与及び文化芸術の鑑賞機会を広く提供するための主催公演

##### 1 地域文化振興事業

###### (1) さくらまつり出店参加

4月13日(土)・14日(日)に開催された「第51回日立さくらまつり」に

テントを出店。日立美術協会の協力による似顔絵コーナーを開設。コーヒーや麦茶の無料提供や当事業団の発行した出版物を紹介するなど、存在をアピールしました。

(2) 文化サロン（参加者：延べ302人）

地元にはゆかりのある方や様々な分野の話題を入場無料のミニ講演会で開催しました。

5月18日（土）

・第150回「日本語の起源について」 講師：久保田 忠良さん

8月24日（土）

・第151回「狂言、オペラと出会う」 講師：小宮 正安さん

12月14日（土）

・第152回「絵巻で読む『源氏物語』」 講師：永井 久美子さん

(3) 出前寄席（参加者：6会場で630人）（7月24日～26日）

出演者に入船亭扇遊師匠、二つ目の三遊亭歌太郎さんをお迎えし、市内6会場に出向いて実施。日本の古典芸能「寄席」の魅力を楽しんでいただきました。

宮田交流センター 80人

諏訪交流センター100人

豊浦交流センター120人

水木交流センター 80人

成沢交流センター 80人

久慈川日立南交流センター70人

(4) 出前支援事業

日立在住のアマチュア落語家が出演する地域の団体主催行事に、高座の設営など技術面で支援しました。

(5) コンチェルト・カフェ（来場者1,000人）

8月3日（土） 多賀市民会館広場

多賀市民会館の広場を会場にオープンカフェ形式の野外ライブを実施しました。地元の団体やミュージシャン出演による演奏や地元商店街による出店協力を得て、施設の有効活用、交流人口の拡大に寄与しました。

(6) 街角小劇場～演劇で街を元気に～（参加者：延べ1,341人）

多賀市民会館小ホールを会場にアマチュア劇団が公演。発表の場を提供すると共に各団体のレベルアップを図ることができました。

- 第11回 5月25日(土)、26日(日)  
 日立第一高等学校：夢を見るひと目覚めたひと  
 怪劇場 8月3日(土)  
 怪談 (コンチェルト・カフェイベント)
- 第12回 9月28日(土)、29日(日)  
 劇団コミュニケーション：消失
- 第13回 11月10日(日)  
 Team・C2-Syndrome：霖雨の門
- 第14回 1月25日(土)、26日(日)  
 演劇事務所'99：楽屋
- 番外編 3月8日(土)、9日(日)  
 劇団コミュニケーション
- 第15回 3月15日(土)、16日(日)  
 籠宮企画チーム無鉄砲：雪の日の
- 第16回 3月29日(土)、30日(日)  
 県北高校演劇部合同公演

(7) 角記念市民ギャラリーでの日立市展受賞作品記念展

12月10日(火)～15日(日) (入場者304人)

第49回日立市美術展覧会の7部門(洋画・日本画・彫刻・書道・デザイン・写真・工芸)の3賞(日立市長賞・日立市議会議長賞・日立市教育委員会教育長賞)受賞作品を一堂に集め開催。コンパクトな空間に上位入賞作品を展示したため、ゆっくりと鑑賞することができました。

(8) ミニピッピコンサート

障害者及びそのご家族から寄せられた詩に曲を付けてお届けするコンサートについて、FMひたち放送で紹介をしました。

(9) 文化活動の助成

次の活動に対し、助成をしました。

- ア ひたちサンドアートフェスティバル2013
- イ 成沢地区文化協会設立20周年記念講演会
- ウ 第27回茨城県高等学校演劇部県北地区大会
- エ 曾野綾子講演会
- オ 第26回日立市民風あげ大会

## (10) 文化団体支援

次の各団体の事務局業務を行いました。また、展示会や発表会当日の運営に携わり、関係の団体との連携強化を計りました。

### ア 日立市文化協会事務局

年間を通して加盟各種文化団体により開催される「日立市芸術祭」は、ホール等の発表5部門、各種大会等が6部門、各種展示会が5部門参加により行われました。9月7日(土)～15日(日)には、全市的行事として「第49回日立市美術展覧会」が日立シビックセンターを会場に行われました。

7部門に674点の作品が展示され、14日間の会期中に約1万9千人の入場者がありました。

### イ 日立市こども芸術祭

3月15日(土)・16日(日)に行われた「子ども芸術祭」のステージ発表では、日立市文化少年団と県内からの参加20団体の子どもたちが華やかでエネルギッシュな演技を披露しました。

また、今回は親子で楽しめる体験コーナーや日ごろの活動を紹介する展示コーナーをギャラリーと会議室で開催。今までのマールホールに比べて来場者の動線が短くなり、概ね好評でした。発表や、体験、展示を通し参加した子どもたちから指導の大人まで、幅広い世代の方たちと共にイベントを作り上げました。

### ウ 日立市少年少女合唱団

### エ 日立市民混声合唱団

## 2 文化芸術発信事業

### (1) 柳家喬太郎 独演会 (入場者 176 人)

4月20日(水)18時30分開演 会場／多賀市民会館大ホール  
日本の伝統芸能「落語」を楽しんでいただきました。

### (2) 日立市小学校芸術鑑賞会 (参加者：6回で3,416人)

6月18日(火)～20日(木) 各①9時30分、②13時20分開演  
会場／日立シビックセンター音楽ホール  
オペラシアターこんにゃく座の「ピノッキオ」を市内の小学5～6年生が鑑賞しました。

### (3) 日立市民会館再開記念事業 (入場者延べ3,966人)

ア 再開記念式典及び演奏会（入場者 1,000 人）

10月20日(日)13時30分開演 会場／日立市民会館ホール  
日立市民会館ホールの再開を記念して、関係の皆様と市民を招待して記念式典と市民の音楽6団体（日立太鼓連盟、日立三曲協会、日立民謡民舞連合会、日立吟剣詩舞道連合会、日立市少年少女合唱団、日立市民吹奏楽団）の演奏、そしてゲストにソプラノ歌手の「安田祥子」さんをお迎えしてコンサートを行いました。

イ 石井竜也 コンサート（入場者 1,020 人）

10月27日(日)16時30分開演 会場／日立市民会館ホール  
人気バンド「米米クラブ」のヴォーカル・石井竜也のコンサートを実施。石井さんは、北茨城市出身で日立市内で絵を習っていたり、高校時代にバンド演奏をするなどゆかりがあります。

ウ ひたちビッグバンドフェスティバル（入場者 821 人）

11月3日(日)13時開演 会場／日立市民会館ホール  
地元日立のバンドも含め高校生から社会人の計11バンドが出演。演奏会の最後は、出演バンド全員演奏で、迫力ある演奏を披露しました。

エ 藤原 正彦 講演会

11月14日(木)18時開演 会場／日立市民会館ホール  
(入場者 1,125 人)  
数学者・作家の「藤原正彦」さんは、数学者としての研究・教育活動にとどまらず、エッセーや社会評論の執筆でも有名。講演では日本古来の「情緒と形」を重視すべきと説き、今後の在り方について示唆されました。

(4) 幼稚園・保育園観劇会（参加者：1,124 人）

11月2日(木) 10時開演  
会場／日立市民会館ホール  
劇団角笛によるシルエットの鑑賞会を実施しました。  
カラフルで美しい影絵は、子どもたちの心に美しい感動を届けました。

(5) 劇団飛行船との共催事業

子どもたちに人気のミュージカルショーを劇団飛行船と共催で実施しました。大道具や照明効果により美しくテンポ良く展開される

舞台構成により、大人から子供まで幅広い世代に楽しんでもいただきました。

ア 7ひきの子やぎとおおかみ (入場者 1,200 人)

12月18日(水)10時30分開演 会場/日立市民会館ホール

イ ヘンゼルとグレーテル (入場者 1,200 人)

2月24日(月)10時30分開演 会場/日立市民会館ホール

ウ ドキドキ! プリキュア (入場者 1,300 人)

3月15日(土) ①11時・②14時開演 会場/日立市民会館ホール

(6) クリスマスコンサート (入場者 278 人)

12月20日(金) 18時30分開演 会場/多賀市民会館大ホール  
多賀市民会館を会場に日立市出身のアーティスト「Katsumi」のライブを開催。バンド形式で往年のヒット曲から最近の曲まで充実のライブ演奏を楽しんでもいただきました。

(7) ひたち童謡のつどい (入場者 798 人)

1月25日(日) 14時開演 会場/日立市民会館ホール

第1部には、日立市立会瀬幼稚園、日立市少年少女合唱団、ひたち童謡を歌う会、ひたちフラサークルの地元の団体が出演。第2部にはケロポンズと新沢としひこさんをゲストにファミリーコンサートを実施。幅広い方々に楽しんでもいただきました。

(8) 映画「天心」上映会 (入場者 2,185 人)

2月16日(日) ①10時 ②13時 ③16時分 3回上映

会場/日立市民会館ホール

地元、北茨城で撮影された映画を上映。日本の近代美術史に大きな足跡を残した「岡倉天心」とその弟子たちの北茨城・五浦での壮絶な創作活動を描いた映画で、その時代背景や日本画の魅力を多くの市民に知っていただくことができた。

(9) 週末よしもと・日立爆笑まつり (入場者 1,309 人)

3月9日(日) 18時開演 会場/日立市民会館ホール

TV等で人気の中川家、COWCOW、NON STYLE、佐久間一行、ハリセンボン、くまだまさし、オスペンギンの多彩な出演者で楽しんでいただきました。

### 3 文化拠点運営事業

日立市の文化施設である日立市民会館、多賀市民会館の指定管理者として利便性の向上や安心安全な施設の管理に努めました。

日立市民会館は9月に耐震補強工事が完了し、10月には再開することができました。ホールは、音響設備も更新されより質の高い技術的支援が可能になり、ホール、会議室ともに耐震面で安心して使用することができるようになりました。これまで同様に、他施設での公演等のチケット窓口販売、電話やトイレ、駐車場の利用者への対応など市民サービスに努めました。

多賀市民会館においては、9月までの日立市民会館の利用者の受け皿ともなり、各種イベントへの技術的支援を積極的に行いました。

利用者総数	日立市民会館	44,087人
	多賀市民会館	113,986人
	計	158,073人

## II 公益目的事業2

あらゆる文化及び芸術に関する情報の収集と提供及び書籍等頒布

### 1 情報収集提供等事業

(1) 広報紙「ひたちの文化」(A4版カラー全8頁、第216号～第219号)を各4,000部発行。市内の文化に関する情報を収集し、市民の方に紙面参加をしていただきながら、市内の公共施設、書店等で無料配布しました。

(2) カレンダー「ふるさと日立」発行  
36名から応募のあった130点の中から4点を選定し、1枚もののカレンダーを制作。市内の公共施設等で1万枚を無料配布しました。

(3) 書籍頒布

次の出版物を関係施設の窓口及び書店頭で販売しました。

- ・「天馬空を行く」 ～日立市近代化の父、日立鉾山創業者  
久原房之助物語～
- ・「竹南荘の日々」 ～日立市名誉市民・瀬谷義彦氏ペンの跡～
- ・「生命ある限り」 ～吉田 正・私の履歴書～

(4) 県北地区文化会館交流事業

県北地区の文化会館6館が協力し、情報の収集等打合せを行いました。

Ⅲ 収益事業

市民会館施設を不特定多数の者が効率的に利用するための公益目的以外の貸与及び清涼飲料水等自動販売機の設置

- 1 市民会館施設を不特定の市民が効率的且つ有効に利用できるよう、企業や営利団体等への施設の貸与をしました。
- 2 市民会館施設の利用者の利便性を図るため、施設内に清涼飲料水等の自動販売機を設置し広く利用していただきました。
- 3 不特定多数の市民の利便性向上のため、各種催し物のチケット預り販売をしました。

以上